



地域防災の要・消防団が出初式



決意を新たにする消防団員



あいさつする林団長

昭和村消防団(林正明団長)は1月5日、村多目的屋内運動場で出初式を実施しました。式典には、団員や関係役員、来賓など

およそ100人が出席しました。

堤村長は「自然災害や火災に対する備えは大変重要であり、団員の皆さんのためまぬ精進と努力に感謝します」と式辞。

続いて林消防団長は「団員の皆さんの努力と団結力が村の力になっていきます。健康には留意していただき、今年も協力をお願いします」と述べました。

また、来賓の方々からの激励を受け、団員たちは地域防災の要として、今年一年の決意を新たにしていました。

新年賀詞交歓会を開催

「昭和村新年賀詞交歓会」(村主催)が1月14日、行政関係者や村内企業・各団体関係者、村ふるさと大使らおよそ180人を招き、村公民館で開催されました。

式典では、堤村長のあいさつをはじめ、永井村議会議長ら来賓の方々より祝辞が述べられ、穏やかな新年の訪れを祝いました。

会場では、生越太鼓の皆さんによる見事な和太鼓演奏が披露され、式典に華を添えています。

村議選再選挙で3人が初当選

昨年11月の村議会議員選挙で欠員となった3人を補う再選挙が1月22日に告示され、新人の3人が立候補の届け出を

行い無投票での当選が決まりました。当選した3人の新議員は1月29日、初登庁し議会全員協議会に臨みました。協

議会では、新議員の所属する委員会を決め、12人からなる村議会の新体制が発足しました。(写真は届出順、敬称略)



総務民生常任委員
倉沢 つかさ
(入原)



文教産建常任委員
林 勝美
(池原)



文教産建常任委員
沢浦 典子
(鎌沢)



万歳三唱を行う出席者



優秀賞に入選した児童生徒と家族の皆さん

家族への思いを作文で発表

第37回「わたしと家族」作文発表会が1月19日、公民館で開催されました。

発表会では、村内各小中学校から応募された562作品の中から、優秀賞11作と佳作24作に選ばれた児童生徒に表彰状が手渡されました。

優秀賞を受賞した10人は、家族へ感謝の花束を贈呈。壇上で家族を隣に、家族への感謝の思いや葛藤、その中で自分自身がどうありたいか、などを綴った作文を堂々と発表しました。

優秀賞（敬称略） ▼東小：鈴木悠真、

石井晴貴 ▼南小：中里もえ、井上奈美、倉澤優来 ▼大河原小：角田翠、石井大翔 ▼昭和：石坂梨奈、倉沢優月、高橋周子、綿貫彩良

佳作（敬称略） ▼東小：小平琉斐、野田望校理、加藤小暖、横坂響 ▼南小：綿貫芹那、松井蛍、望月逢太、倉澤暖、藤井心春、綿貫花菜、堤歩力我、堤彪雅、小林百華 ▼大河原小：栗原礼、新井弥来、岡田大洋、吉野陽南子 ▼昭和：阿部峻介、堤丈治、須田蘭、竹之内一宝、石澤ひなの、廣田隼人、星野智祐

学校給食を味わい理解と関心を

村学校給食センターは、1月28日から30日までの三日間、学校給食試食会を実施しました。これは、1月24日から30日までの「全国学校給食週間」にあわせ、同センターが安全でおいしい給食を知ってもらおうと毎年実施しています。

一食分の給食費260円を支払うこの試食会には、三日間で延べ65人が参加。

三日目となった1月30日の献立は「昭和中学校の小野校長先生の思い出の給食」で、揚げパンやカレーシチューなどが出され、参加者は「懐かしい」「食べやす



給食を紹介する本間栄養教諭

くおいしい」などと給食を楽しみました。同センターの本間栄養教諭からは、学校給食の歴史や、村産の食材を取り入れたメニューについて説明がありました。



給食を味わう参加者

いじめ防止

子ども会議を開催

「昭和村いじめ防止子ども会議」(村教育委員会主催)が1月11日、公民館で開催されました。この会議は、村内各小中学校の児童生徒が、いじめを防止するための取り組みを紹介し、いじめのない学校づくりをめざす場として開催されたもの。

会議では、各校の代表児童生徒が年間の活動を発表。児童生徒同士の積極的な交流を通じて、いじめ防止につながるよう様々なアイデアが紹介されました。また、他校の取り組みに対する意見交換も行い、いじめ防止へ意識を高めていました。



発表を行う代表児童(南小学校)